

姉妹対決を制し、初の栄冠に輝いた狩俣道乃(ドリーム高山)＝那覇市の県立武道館



# 道乃 姉妹対決制す

## 花木は10年ぶり17度目V

卓球の第50回タイムス杯争奪総合個人選手権大会は23、24の両日、県立武道館で開かれ、男子は花木友明(琉球卓球クラブ)が10年ぶり17度目の頂点に立った。女子は狩俣道乃(ドリー

ム高山)が妹・道世(宜野湾中)との姉妹対決を制し、初の栄冠に輝いた。

▽準々決勝  
花木 友明 3-1 新垣 博之 (琉球大)  
木吉 裕貴 3-1 佐藤 良明 (琉球大)  
柳原 弘文 3-1 友寄 隆太 (与那原T)

▽準決勝  
狩俣 道世 3-0 金城のどか (宜野湾中)

▽準決勝  
狩俣 道世 4-1 仲宗根 津嘉山  
狩俣 道乃 4-1 津嘉山

### ハイライト

姉妹対決となった女子準決勝。狩俣道乃(ドリーム高山)と妹・道世(宜野湾中)による公式戦2度目の対戦は、妹の攻めを知り尽くした姉が逆転で制した。

「妹なのでやりやすかった」という道乃。だが、昨年10月の全日本選手権県予選一般の部も制した道世は、誰もが認める県内トップ選手。序盤は道世に優勢に試合を進められ、道乃は「攻めてくるコースが分からず、返ってこないボールが返ってきた。粘られて最初

約1年ほど卓球から離れた時期もあり「感覚も体力もまだまだ」と道乃。5年ぶりに出場したこの大会で、ついに果たした初優勝だが「サーブとレシーブを練習しないと、3球目をしっかり攻め切れるようになりたい」と満足のいく状態にはない。目指す所はさらに高く、既に県内に名をはせる妹と共に、狩俣姉妹の時代が幕を開けた。

「好きだから半分は義務」  
花木、高校生にハッパも  
○：17度目の優勝を飾った花木友明(琉球クラブ)。

は美ら島総体。高校生にどんと出てきてほしい」と自らの優勝に喜びつつも、高校生にハッパをかけた。準決勝から試合は4ゲーム先取。花木は少しでも長く卓球ができる、4ゲーム先取があっているのだと言

### コース読み反応

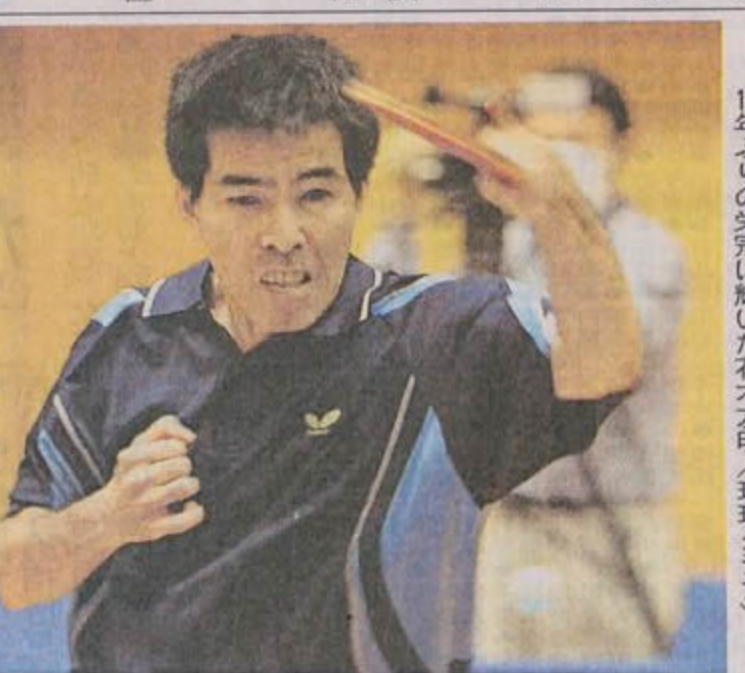
妹の攻め知り尽くし逆転

「やりづらかった」それでも1-3で迎えた第5ゲーム。道世が「弱点とかをよく知っている。6、第7ゲームも取り、姉(対戦は)戦術的にはやりの底力が妹を上回った。

約1年ほど卓球から離れた時期もあり「感覚も体力もまだまだ」と道乃。5年ぶりに出場したこの大会で、ついに果たした初優勝だが「サーブとレシーブを練習しないと、3球目をしっかり攻め切れるようになりたい」と満足のいく状態にはない。目指す所はさらに高く、既に県内に名をはせる妹と共に、狩俣姉妹の時代が幕を開けた。

「好きだから半分は義務」  
花木、高校生にハッパも  
○：17度目の優勝を飾った花木友明(琉球クラブ)。

は美ら島総体。高校生にどんと出てきてほしい」と自らの優勝に喜びつつも、高校生にハッパをかけた。準決勝から試合は4ゲーム先取。花木は少しでも長く卓球ができる、4ゲーム先取があっているのだと言



10年ぶりの栄冠に輝いた花木友明(琉球クラブ)